

ひろば
大代

平成二10.3
大代公民館

米寿によせて

八反田 竹間アサノ

敬老会には皆様のお心使いで楽しいひとときを過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。

私も元気で出席でき、米寿のお祝いをしていただきました。

祝いのお言葉、記念品、郵政大臣からの祝状、花束などたくさんいただき長生きをしてこんなに祝っていただき、とても喜んでいきます。

昨年は、親戚の方や家の者で米寿を祝ってくれ、とてもうれしかったです。子にも早く死に別れ、つらい事、苦しい事、数多くの体験を経て、今日まで生きてきたものと、我ながら感心いたしております。二十年来、孫のお世話になっておりますが、とてもよくしてくれるので幸福です。

八反田で生まれ、八反田に嫁ぎ、近所の方にもいつも親切にしてください。有り難い事だと感謝しております。

私の日課は、朝昼晩、仏壇に手を合わせ先祖の霊を弔い、みんなの無事を祈り、近くのお地藏様にお参りをする事です。

自分の事は自分で出来る事が何よりもありがたいことです。これからも元気で暮らせるよう、願っております。

畑ワサビ栽培の勧め

上飯谷 下垣貞義



香辛料として栽培されている作物はいろいろありますが、ワサビはその独特な、風味、香味、辛味の点で他の追随を許さないところ、従って値段も著しい差があり、良質のものは、一流の寿司屋、料亭、旅館以外ではなかなかお目にかかれないようだ。一般にはインスタント時代を反映して、粉ワサビ練りワサビで間に合わせている。

ワサビダイコンを原料とするこれらの加工食品を、あたかも本物のワサビを原料としているかのように誤解している人も少なくない。

米はもとより、野菜、果物の多くが過剰の情勢下にワサビは絶対量が不足していることから、極めて有利な作物

といえるでしょう。とは言え水ワサビは気温、水温とその条件はなかなかきびしいことから、根茎を目的としない茎葉目的の畑ワサビの栽培をお勧めしたいと思います。畑ワサビと言っても、水のワサビと同じで畑地に作るから畑ワサビなのであり、秋に苗床に種を蒔く春になって発芽します。適当な管理をし一年たった秋に本畑へ移植します。

夏期直射日光を余り受けないような陰地（標高三〇〇米以上、冬期マイナスイ三度以下に下らないとの目安）最近ではビニールハウスや被陰ネットで日陰を作って栽培することも普及して来つ、あるようです。こうして取れた茎葉は野菜として市場でも珍重され、ワサビ漬けとして加工すればその美味しさは格別でふるさとの味として賞味されるでしょう。まさに適地適産といえるでしょう。

秋の収穫を迎えて

梅 山口富士枝



今年は何時も暑い。本当に暑い。ひたすら猛暑に耐えることが、精一杯の中での収穫を迎えました。

思えば春以来、歩調の合わない二人三脚での農業、施設への植付や、田の植付など御近所のお世話になりながら、やっと人並みに今年も出来た事は大きな喜びです。

現在農業の情勢や作業の機械化も様々に変わって行く中で、これから何時までどのようにして農業を続けていけるか、私は最近そう思いながら今年も今日に至りました。

このま、農業を続けるとしたら相当な無理をしなければならぬが、かなり変わって行くであろう二十一世紀の農業について行けるかどうか、これからの問題だと思っています。

この暑さで、遠き昭和十四年の干ばつを思い出します。今では早生稲の普及が進み、雨量の少ない今年でもたわわに実った稲穂を見るにつけ、品種改良のお陰だなあと有り難く思います。

子供心の思い出は田植が出来ず、苗代のま、やっと植えた田の稲は穂が出ず、雑草がいっぱい生え、草履をはいて草むしりをした夏休み。

朝早く母と遠くへ飲み水を汲みに行った事。色々な記憶が浮かびます。

今、私は四十四年続けた農業ですが、今後も地区の方々のお世話になりながらも、一年一年出来得る限り、後継者に引き継ぐまでやりたいものと願って居ります。

体育の日

10月7日 国民体育大会

公民館



十月十日は体育の日です。東京オリムピックの開会式が行われた日でもあります。かざられた選手だけでなく、国民全体が健康な心身になってほしいという主旨を持った祝日です。又、スポーツを見る日でなく、やる日にしようというねらいがあります。スポーツを通じて家族が、或は職場や地域社会の人々が楽しみ、体育の日をみんなの健康の日にしたいものです。

がんを防ぐには

Ⅱ 早期発見とその予防

大田保健所

昭和六十年の我が国の死亡は七十五万人。その内がんにによる死亡は十八万八千人(二五%)を越え、五年連続で死因の一位となり其の後も増え続けて

います。

そこではがんにかけられない様にする為には、がんの原因を究明し、これを出るだけ除く事が重要です。火事にならない様に普段から「火の用心」に心がけるのと同じです。

これ迄多くの研究によってがんの危険因子が明らかになって来ましたが、国立がんセンターでは「がん予防十二カ条」を定め、がんの予防をわかり易く解説しています。

この様な生活習慣をつける事によってがんの発生を防ぐ事が出来ると思えます。

がん予防の十二カ条

(1) 偏食しないでバランスの取れた栄養をとる。

(2) 同じ食品を繰返して食べない。

(3) 食過ぎをさけ脂肪を取り過ぎない

(4) 深酒をしない。

(5) 喫煙は少なくする。

(6) 適量のビタミンA、C、Eと繊維質のものを多くする。

(7) 塩辛いものを多量に食べない。余り熱いものは取らない。

(8) ひどく揚げた部分は食べない。

(9)カビの生えたものは食べない。

(10)過度に日光に当らない。

(11)過労をさける。(どんな病気にも

言える鉄則)

(12)身体を清潔に!

早期発見の為に健康診断を受ける事は一番大切です。皆さん誘い合って健康診断を受けましょう。

大江高山登山道下刈り

九月二日(日)天候に恵まれ、大江高山

登山道下刈りは地元各自治会の方々三十名のご協力によって行われました。

この処毎日が三〇度を越す暑さの為作業の難事が予想されましたが高山頂の気温が上昇するに従って谷間から吹き上げる特有の風に朝のうちには以外に涼しく、中腹に至る頃から汗ダクの連続でした。

飯谷側は急傾斜の為手鎌で、山田側は草刈機で八時半から始まりました。混合油、或は飲料、弁当などがずっしりと肩にくい込み、苦難の坂登り……頂上付近は国有林の為本年は特別の注意と配慮がなされました。山田側頂上に達したのは十一時半、



あいにくこの日は海岸線の視界が悪く厚い雲が水平線に横たわり、日御崎灯台、隠岐の島影の展望は不可能でした。

途中大家の町や道路、田圃、大邑開発事業で造られた広い広い筈の畑が庭の如く散在し、初めての方も八百米から見下ろすその迫力には感動の声も上がっていました。

十二時待望の昼飯となり、お楽しみの弁当の味はまた格別でした。

頂上付近の道端では、ミスミ草、ミヤコアオイや珍しい蝶も見られました。

飯谷側、八〇八米の頂上迄は更に上りあり下りありの長丁場、三時をかなり過ぎた頃でした。皆さんもさすがに暑さと疲労の為に参った様です。下山の時はもう膝がガクガクで尻もちをつくのも度々……

然し皆さんで協力して汗を流した後はさわやかな気分が残った様です。皆さん本当にご苦労さんでした。

おしらせ

大田市では来る10月21日(日)13時から16時迄、大田市民会館に於て、第2回「花と緑の町づくり」推進大会が行われ、併せて講演会が開かれます。

講師は大阪テクノホルテイ園芸専門学校長で国際花と緑の博覧会植物管理専門委員の妻鹿加年雄先生です。

花と緑の相談受付や、苗の無料配布なども行われます。御参加下さい。

◆去る9月16日敬老会の日、大代町大家木村酒造様より、清酒一合瓶詰め百本を敬老会へ御寄贈頂きました。厚く御礼申し上げます。

◆9月23日、浄土寺に於て行われ

ました故山根昇様の納骨式の際、奥様へ北九州市への山根マサミ様より、大代町公民館を始め、寿会、婦人会、社協大代支部、自治会連合会、小中学校へ夫々多額の御寄付を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に御知らせ致します。

◆赤ちゃん誕生おめでとう!

榊 権原 広 大くん

晴美

◆社協大代支部より

柿田 谷口俊美様より

四日市 中垣英親様より

香典替りに替えて夫々金一封の御寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。